

2022年 2月
あさかぜ保育園子育て支援だより



早いものですね。2022年が始まり一ヶ月があっというまに経ちました。しかも、1月からウイズコロナと言いながらオミクロンと言う新しい変異ウイルスとの闘いが始まりました。いつになれば、平穏な毎日がくるのでしょうか。マスク着用・手洗い・うがい・三密を避ける等が毎日の生活に溶け込み習慣化するしかないのでしょうか……。(みなさん、頑張りましょう！)

余談ですが、2月は如月「きさらぎ」とも言います。とても、日本語のきれいな言葉の響きだと思いませんか……。この「如月」の意味には、寒さのために、更に着物を重ねて着るので「衣更着」と言う説もあるそうです。昔の人達も2月はきっと、寒さは厳しかったのでしょうか。(ばあばも2月は衣更着です 笑)

この寒さ厳しい中、子どもは風の子と言いますが、今年もめろん組さんは確かに鬼ごっこなど風を切って走っています。元気です！！

去年などは朝出勤すると中には、ツルツルの氷を見つけて私の手にそっと当ててきます。「わっ！びっくり！」とオーバーリアクションで驚くと「冷たいじゃろ(笑)」と得意そうな顔で友だちの方へ走っていきます。

それを見ていた小さい子どもたちも、それぞれ手に何かを持って話かけて来てくれます。言葉としては、良くわからない事もあります。

しかし、一生懸命に訴えてきます。「すごい！」「良く見つけたね！」としっかり応えます。(たとえ、小さな石でも)どの子ども、満足そうな顔で見つけた物を大事そうに抱えて、もといた場所へ……。

今年は、保育室の小さな発見や自分で製作した物を嬉しそうに見せてくれる子どもたちが多いんですよ。そして、「すごい！」「やるね！」としっかり褒めて認めます。こどもたちは、とっても素敵な笑顔を見せてくれます。

この何気ないやりとりって大切だと思いませんか？

この何気ない日常的営みを繰り返すことで、先生は私(僕)を認めてくれると感じ、心も身体も安定してくるのではないのでしょうか。周りの大人を信頼していく基礎になると思います。

時には年長さんのなかに、「先生ひさしぶり！元気じゃった？」と側に寄って来てくれます。心が思わずホッコリ！とても心がなごみます。相手を思いやる心が育ってきているのかなと感じる一時もあります。

家庭でも、しっかり日常の営みの中での会話を大切にしてみてください。

保育園と家庭が協力することで、子ども達はきっと温かい思いやりの気持ちが育つ事と信じています。

ここから少し、発表会までのリハーサルの子どもたちの様子をお知らせしますね。

どの子もリハーサルとなると緊張した面持ちです。普段、待つ事が苦手な子どもも舞台上にたちカメラが向くと姿勢までピシッ！

みんな、育ってきているな～と感じました。一年経つと、恥ずかしがって舞台に出ることさえ嫌がっていた子ども。先生が側にいないと涙が出ていた子ども。この子どもたちが、自分から舞台上に立ちセリフ・表現・歌・合奏をみんなと一緒に楽しんでいます。毎日、保育士や友だちと生活する中で信頼関係もでき、子どもの心の中には肯定感が育ってきたのではないのでしょうか。

コロナで発表会は、どのような状況になるかわかりません。（保護者の方が参加できるように祈っています） 子ども達は成長しています。子どもたちの心が温かく育つように、私たち周りの大人がしっかり褒め認めるように気を付けて行きましょうね。

今月は、ここまで・・・。

子育てが終わった ばあ～ばより

